

第16回 特別展 日大理工のちからⅫ 物理学科

過去と未来をつなぐ 「万物の理」展

2019.7.25 THU.~2020.6.27 SAT.

物理学者が 見る世界

CSTミュージアム(日本大学理工学部科学技術史料センター)

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1 日本大学理工学部 船橋キャンパス 5号館2F TEL.047-469-6372

開館 月曜日~土曜日10:00~17:00 休館 日曜日・祝日 [入場無料] 後援:千葉県船橋市教育委員会/日本大学理工学部校友会/日本大学理工学部校友会物理部会



第16回特別展 日大理工のちからⅫ 物理学科

2019.7.25 THU.~2020.6.27 SAT.

過去と未来をつなぐ「万物の理」展

子どもの頃、空はどうして青いの？人は空を飛べるの？と疑問に思ったことはありませんか？

本展示では、物理学者が日常の様々な現象を読み解いていきます。

また、1958年創設の物理学科で行われている、核融合発電への利用をめざした磁場閉じ込めプラズマ、リニアモーターや送電など多くの応用の可能性がある超伝導研究、素粒子論や物性、宇宙物理など、幅広い理論研究の一端もご覧頂きます。

物理学は、事象について物の理(ことわり)、物事の筋道、理由を探索する学問です。

ぜひ、ご来場いただき、見て、触って、「物理現象」を体験してください。

WORKSHOP

光の不思議を感じてみよう

雨宮先生・物理学科・物理学専攻の学生

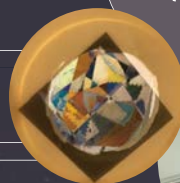
8.3 8.4 10:00
SAT. SUN. 15:00

光の不思議な世界。万華鏡をつくろう

11.3 10:00
SUN. 15:00

光の性質を知る。スマホを使って顕微鏡をつくろう

物理学科の
学生たちと一緒に、
物理の面白さを
体験しよう！



●お申込み…… CSTミュージアム 電話:(047)469-6372 E-mail:cst-m@museum.cst.nihon-u.ac.jp

期間限定展示

石原 純の日記 10:00
2019.8.3 SAT.~8.4 SUN. 15:00

石原 純
(1881~1947)

日本で初めて相対論や量子論に関する論文を書き、国内における理論物理学の礎を築いた物理学者。彼の著作は湯川秀樹や朝永振一郎、坂田昌一らが物理学の世界を志すきっかけとなった。科学ジャーナリストやアララギ派の歌人としても知られている。



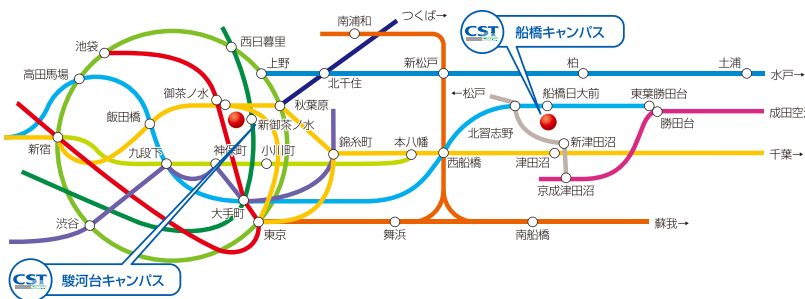
「学科のお宝」である
石原純の日記を
期間限定公開します

CST 日本大学理工学部

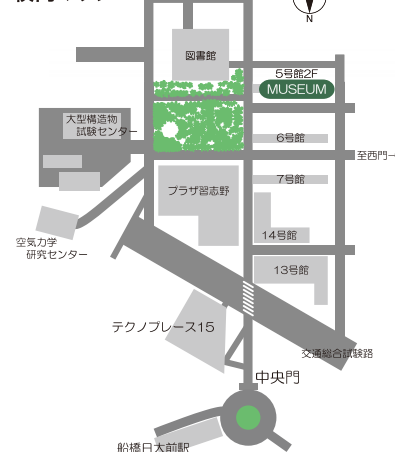
船橋キャンパス 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

アクセス 東葉高速鉄道(東京メトロ東西線乗り入れ)[船橋日大前]駅 下車 西口徒歩1分

<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/>



校内マップ



日大理工のちからXII
物理学科

物理学者が見る世界 ～過去と未来をつなぐ「万物の理」～

2019 年 7 月 25 日～ 2020 年 6 月 27 日

(新型コロナウイルス蔓延にともない、2020 年 3 月 5 日以降は休館。その後開催期間を 2020 年 6 月 13 日までに変更。)





ワークショップ

